



# 武田雄飛丸君の (法政大学文化連盟委員長)

# 無罪 &

# 処分撤回へ!!!



# 裁判傍聴に集まるう!

## 【裁判スケジュール】

### ◆武田君「暴行」でっち上げ裁判

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 第7回公判(論告求刑)   | 1月28日(水)13時半~ |
| 第8回公判(最終意見陳述) | 2月23日(月)10時~  |
| 第9回公判(判決)     | 3月18日(水)13時半~ |

※いずれも「東京地裁429号法廷」にて。

※傍聴券配布のため、開始30分前までには裁判所入口脇に集合してください。

### ◆武田君「無期停学処分」撤回裁判

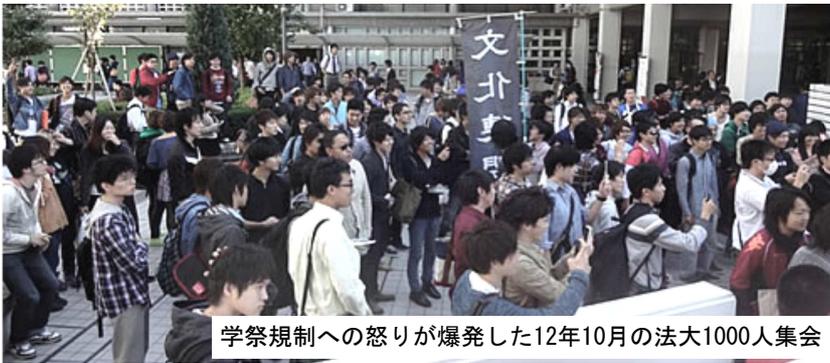
- |               |              |
|---------------|--------------|
| 第9回弁論(最終意見陳述) | 3月13日(金)11時~ |
|---------------|--------------|

※「東京地裁615号法廷」にて

# 法政大学文化連盟

(メール) [bunren08@yahoo.co.jp](mailto:bunren08@yahoo.co.jp)

(HP) <http://08bunren.blog25.fc2.com/>



学祭規制への怒りが爆発した12年10月の法大1000人集会

武田雄飛丸君(法大文化連盟委員長)の「暴行」でつち上げ裁判が1月28日～2月23日～3月18日に、「無期停学処分」撤回裁判が3月13日に行われます。この二つの裁判闘争は、「大学・教育はどうあるべきか」を問うものであり、安倍政権の戦争政治と対決して学生運動を甦らせる闘いです。

「暴行」裁判は、武田君が「法大のビデオカメラ一万円相当」を「破壊した」として、昨年5月13日に「器物破損」容疑で逮捕され、6月3日に「暴行」容疑へ切り換え起訴されたものです。学生運動つぶしの政治弾圧であり、「破壊された」とされるビデオカメラ自体、法大当局が文化連盟はじめ学生の政治活動の日常的な盗撮に使っていたものです。

撮影された動画は、恒常的に公安警察に提供されていることも裁判で明らかになりました。法大生の闘いをつぶすため、法大当局と国家権力が一体で運動の中心人物の武田君をでっち上げ逮捕したのです。そのデタラメさは、盗撮に抗議した武田君が職員にプラカードを「押しつけた」なる「暴行」の中身にも示されています。

処分撤回裁判は、武田君が2012年10月25日、「業務妨害」「授業妨害」を理由に法大を「無期停学」処分になったことに対し、その撤回を求めるものです。「業務妨害」とは、法大当局が強行した大学祭規制強化に武田君が最先頭で反対し、1000名のキャンパス抗議集会を行ったこと、「授業妨害」とは、原子力推進機関＝放射線影響研究所理事長の

大久保利晃の法大での授業に抗議したことを指します。大久保は郡山市の「原子力災害対策アドバイザー」として政府の福島棄民政策に加担する札付きの「御用学者」です。武田君は彼の授業を聴講して批判しようとしたところ、教室前でピケを張った職員に入室を拒否され、それに抗議したことをもって「授業妨害」

をでっち上げられました。学生が御用学者を批判すること自体が「処分理由」にされているのです。

「暴行」裁判と処分撤回裁判から見えるのは、新自由主義大学の腐り果てた姿です。この間、東大が「軍事研究禁止」から「容認」へ転じたことが報道されました。これは、安倍政権が一昨年12月に閣議決定した「国家安全保障戦略」で「産官学の力を結集させ安全保障分野で有効に活用する」とした、「大学の軍事研究への動員」方針に沿うものです。



背景には、「大学改革」による「総長権限強化」と、教授会解体を通じた「大学の営利化＝国策機関化」があります。法大でも、田中優子総長は「反安倍」を掲げながらも、「グローバル化」の美名で「大学改革」を推進し、闘う学生を公安警察に売り渡しています。そして恥知らずにも、文科省から「スーパーグローバル大学」に認定されているのです。

安倍の戦争政治の中、「原子カムラ」とまったく同じ構造で「軍需ムラ」がつくられようとしています。田中優子のような、「リベラル」を装いつつ大学を国家権力・資本に売り渡すエセ「左翼」こそ、安倍政権の「左の補完物」です。私たちはこの大学のあり方を変えるべく、「126人の逮捕－34人の起訴」をのりこえて法大闘争を闘っています。昨年11月には、京都大の仲間が「公安刑事摘発」の勝利をかちとりました。学生がキャンパスで立ち上がることこそ、「大学の戦争協力」を阻止する展望です。私たちは本裁判闘争を通じて、学生運動の復権をかちとります。ぜひ傍聴に集まってください！



全国学生による昨年の10・21国際反戦デー(国会デモ)